

第3回公募

# アートハウスおやべ 現代造形展

2021年  
4月17日〈土〉—5月23日〈日〉  
10:00—17:00  
会場／アートハウスおやべ



## ご挨拶



小矢部市長

**桜井 森夫**

「第3回公募 アートハウスおやべ現代造形展」の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。  
この公募展は、新たな美に挑戦する斬新で個性的な作品を、年齢・経歴・国籍を問わず、広く全国から募集しておりますが、今回は前回の倍近くとなる444点もの作品が出品されました。コロナ禍による閉塞感に包まれている中、アートハウスおやべが文化・芸術、とりわけ現代の美の交流拠点としてふさわしい全国公募展を開催できますことは、誠に喜ばしく意義深いことです。

今後も、本公募展を契機として様々な文化芸術の交流を繋ぐ取組を展開してまいりたいと考えています。何とぞ関係各位の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



北日本新聞社社長

**駒澤 信雄**

「第3回公募 アートハウスおやべ現代造形展」の開催を心よりお祝い申し上げます。  
この公募展は、現代アートの新たな表現を追求する場として、2017年にスタートしました。2年に1回開き、今回は平面と立体作品の両部に、前回の倍近くとなる444点の意欲作が寄せられました。斬新な表現やテーマに挑んだ作品が多く、非常に手ごたえを感じております。

会場となるアートハウスおやべは、2015年に小矢部市初の美術施設としてオープンしました。入賞・入選作は、5月23日までの会期中、アートハウスの屋内に展示され、訪れた美術ファンに多様な作品群をじっくり鑑賞していただきます。今回の展覧会が、個々の作品の魅力を広く発信するのはもちろん、新たな美の創造と優れた作家の発掘・育成につながると期待しております。

この公募展が、若い世代を中心に多くの人々が集うアートイベントとして、小矢部市のさらなる活力アップに寄与することを心より願っております。



第3回公募アートハウスおやべ  
現代造形展実行委員長

**埴生 雅章**

この展覧会は、全国から作品を募集し新鮮で多様な現代造形の姿を紹介すること、全国各地と結ぶ新たな美の交流をつくりだすこと、優れた作家には作品発表の場を提供するなどの支援を行い造形文化の振興を図ることをねらいに開催するものです。

応募条件は国籍、年齢、経歴を問わず、部門は平面、立体、インスタレーションの3区分とし、自由で開かれた展覧会をめざしています。3回目となる今回は、平面と立体のみの募集となりましたが、全国41都道府県から過去最多の444点の作品が集まり、その中から厳選された個性豊かな作品34点を展示する展覧会となりました。

作品を寄せていただいた全国の作家の皆様、そして、この展覧会の開催にご支援、ご協力いただいた関係の皆様へ深く感謝申し上げます。今後も2年に一度開催してまいりますので、引き続き各位のご支援をいただければ幸いです。

## 審査員



島 敦彦

国立国際美術館館長  
1956年富山県生まれ。富山県立近代美術館、国立国際美術館、愛知県美術館、金沢21世紀美術館で勤務後、現職。現代美術を中心に、展覧会を企画すると同時に、近年はダンスや演劇などパフォーミングアーツの現場にもできるだけ足を運んでいる。

応募作品は、従来の絵画や彫刻のみならず、独自に場を構成するものも散見されたが、新型コロナウイルス感染症が収束しない状況が、作品の主題に多かれ少なかれ影響したように思う。審査にあたっては、とにかく「はっとさせられる」かどうかを一つの基準にした。それは、造形的な斬新さである場合もあれば、身につまされるような切実さでもある。



麻生 恵子

富山県美術館学芸員  
富山県出身  
1992年から富山県の美術館の学芸員として、国内外の現代美術を中心とした展覧会、および教育普及活動の企画に携わる。現在、富山県美術館普及課長。

3回目を迎えた「アートハウスおやべ現代造形展」はコロナ禍の中での開催となりましたが、全国各地の幅広い年齢層のアーティストから過去最大の444点の応募をいただきました。先の見えない、不安定な社会情勢の中での創作活動は厳しいものだったかと思いますが、時代をとらえた個性輝く作品に数多く出会うことができ、その分、審査はたいへん難しいものでした。見る人の価値観もまた、変容を余儀なくされていますが、今こそ、作品が放つ、創造の力、表現の魅力に存分に触れていただき、心の癒しや明日への励みの一歩となることを願っています。



内呂 博之

ポーラ美術館学芸員  
富山県黒部市出身  
ポーラ美術館は印象派の絵画を中心に約1万点のコレクションを有する。近年は現代美術の収集、展示にも注力している。また、2017年からは若手芸術家の作品を紹介する個展形式の展覧会を開催している。

第3回目の開催となる今回の公募では、これまで最もたくさんの個性あふれる作品が全国から集まりました。入選および入賞を選ぶことは困難をきわめましたが、豊かな感性に満ちたレベルの高い作品によって展覧会を開催できることは審査員として大変嬉しく思います。是非、アートハウスおやべに足をお運びください。



**小林 美波**

こばやし みなみ

**甘やかされ大社**

(立体)

ミクストメディア、赤ちゃんあやしおもちゃ、ロウソク、スライム

新聞記事やスマートフォンのケース、赤ちゃんをあやす玩具、アンパンマンのオブジェなど日常的な素材を使って神社の空間のように表現するギャップに、日常と非日常<sup>あわい</sup>の間の面白さと今日の社会批評に繋がる意図を感じさせる。あらゆる素材が溶解していくような表現には昨今の世界的な災難において日常が崩壊していく危機感も込められているのではないかと感じる。様々な感情がこの作品の中に渦巻き、作者のメッセージが観る者を飽きさせない仕掛けとして至る所に散りばめられているようだ。





**工藤 廉**  
くどう れん  
**宇宙**  
(立体)  
フェルト

まずは作品のカラフルさが目を引くが、起伏があることで中に引き込まれるような独特の魅力・強さが生まれている。色彩の組み合わせ効果と立体感によって美術の醍醐味を感じさせる作品である。使われているのは身近なフェルトという素材であるが、周りの白い枠、額縁のように見える部分も含めて作品としての完成度が高いことに驚かされる。



**阪本 結**

さかもと ゆい

**地元のサンプリング  
(平面)**

キャンバス、油彩、パステル

描いているようだけれど消しているような、色  
を載せているようで載せていない、写実的とい  
うよりは抽象的、そういった全体の絶妙なバラ  
ンスが面白く、見ていて飽きない。ぼんやりし  
た記憶を重ねるような不思議な重層性を帯びた  
表現が魅力的で、作家がこれからどのような展  
開を見せていくのが楽しみである。



入 選

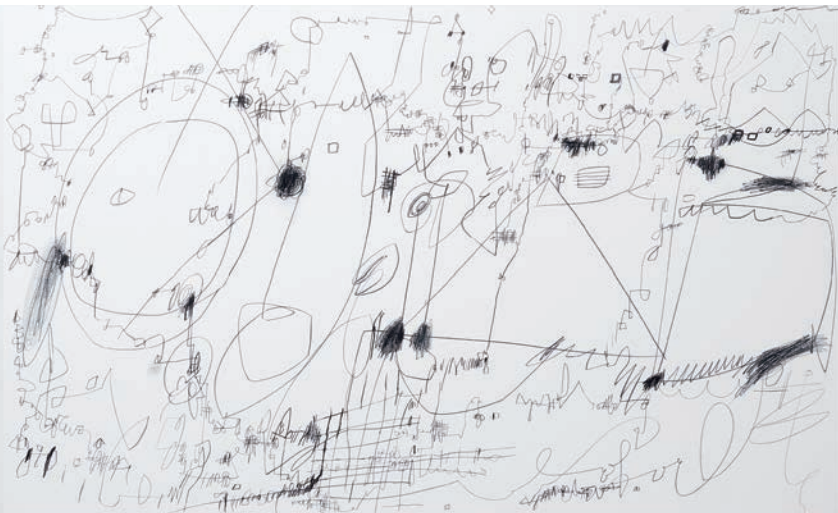


**アラキ ドン**  
あらかき どん

今日も  
岩絵具、銀箔、墨、胡粉、高知麻紙



**泉 里歩**  
いずみ りほ  
いつまで続くのだろう  
キャンパス、ボールペン



**荻原 賢樹**  
おぎはら まさき  
○△□  
えんぴつ、紙、パネル



笠嶋 富士幸  
かさしま ふじゆき  
街の記憶  
和紙プリント、木製  
パネル



風見 規文  
かざみ のりふみ  
室内風景が象られた壁画片

木白 牧  
きしろ まき

### TOKYO MONSTER

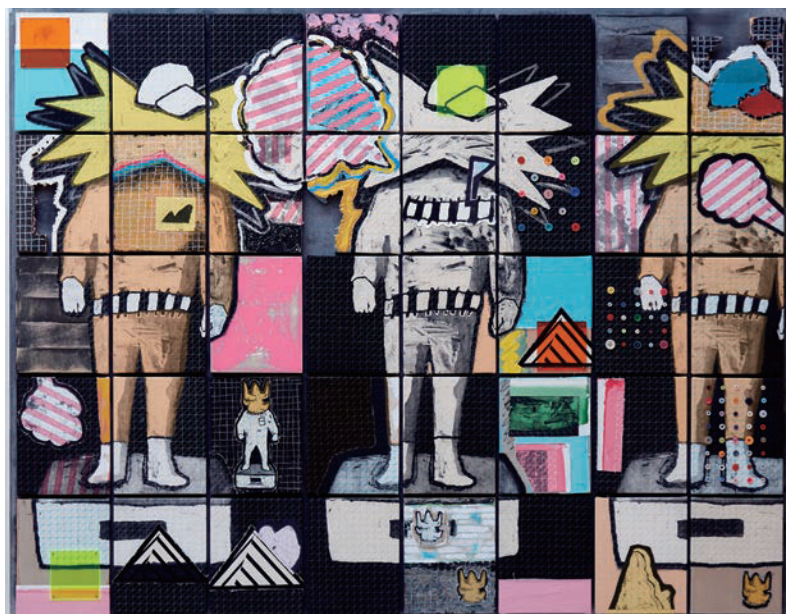
ミクストメディア（アクリル絵具、東京の地図、ホログラムシート、海のプラスチック、セメント、レジンを油性ペン、キャンバス）





河内 大樹  
こうち だいき  
nice meeting you

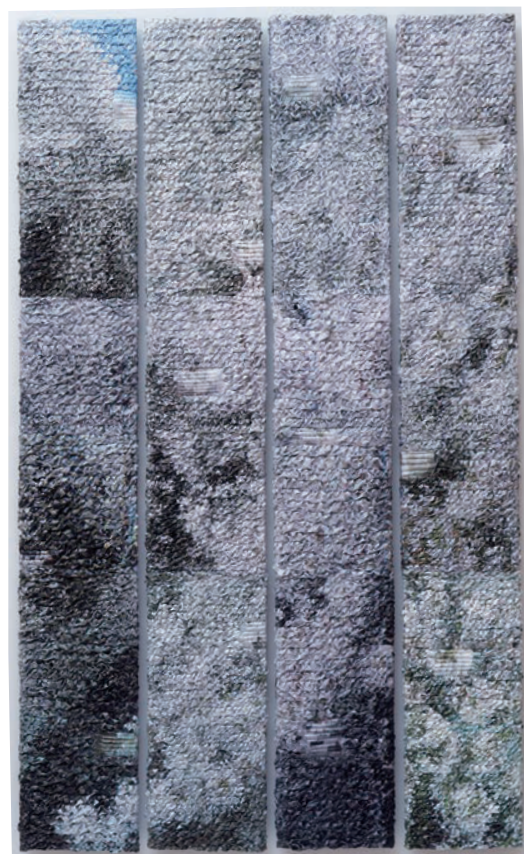
銅版画、シルクスクリーン、  
ミクストメディア、インク、  
帆布、パネル



齋藤 ムベンベ  
さいとう むべんべ

brushup panel

ミクストメディア



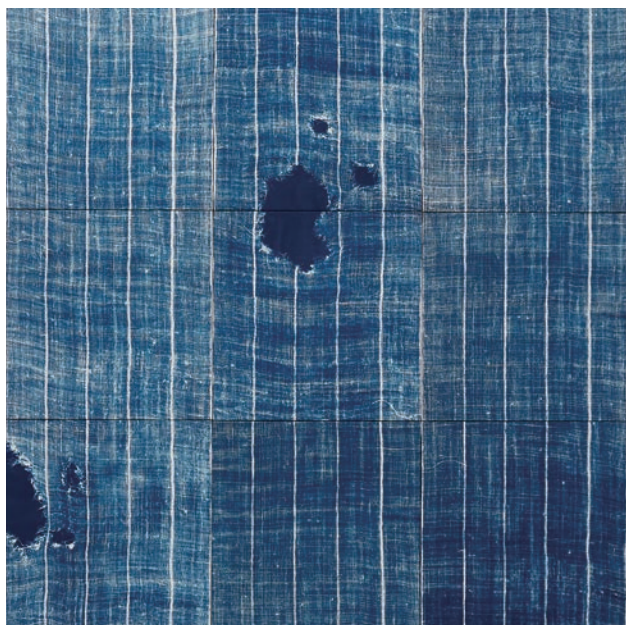
鈴木 美緒  
すずき みお

この季節に思いを馳せて  
ミクストメディア、布、糸、木材



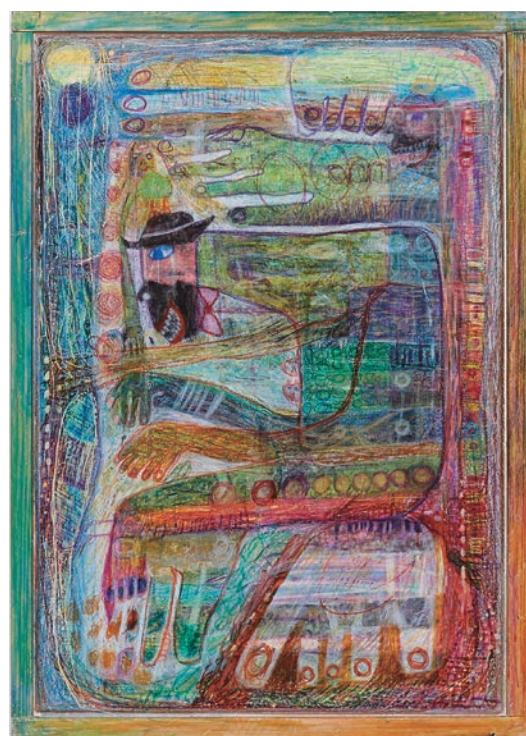
鈴木 洋子  
すずき ようこ

沈黙 W  
ミクストメディア、竹、和紙



曾 啟豪  
そう ちーほお  
記憶する布  
麻 50% 綿 50% 布

園田 源二郎  
そのだ げんじろう  
まよなかのジャズ  
クレヨン、紙、板



**田中 敬二**

たなか けいじ

**らんなあず**

ミクストメディア  
(木、ウレタン、段ボール、アクリル)



**田中 良太**

たなか りょうた

**因数**

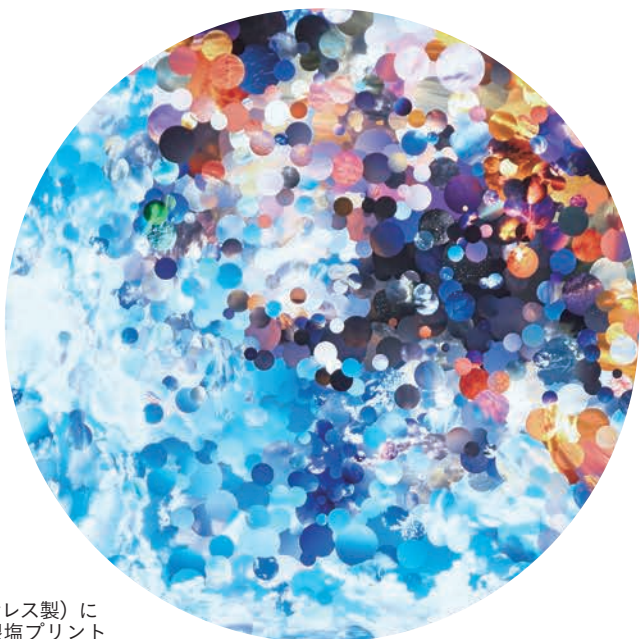
アクリル絵具、キャンバス

**永井 寿郎**

ながい としろう

**SKYCOLLECTION**

LED 内照式フレーム (ステンレス製) に  
RGB レーザー出力による銀塩プリント



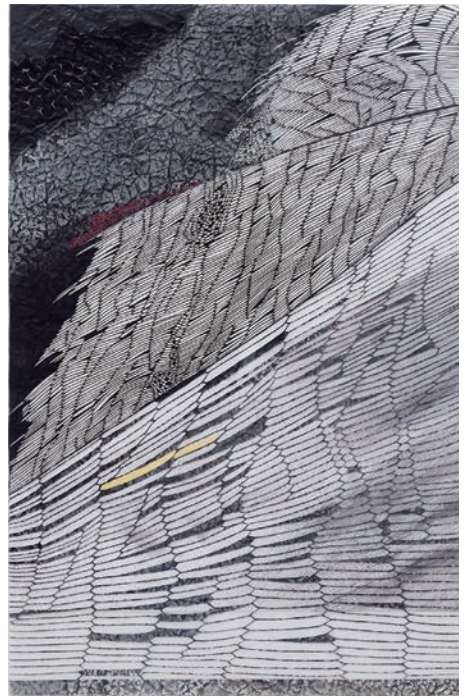


## 中ぞの 蝶子

なかぞの ちょうこ

### contact

奉紙、檀紙、墨、顔料、雲母、胡粉、  
パステル、アクリル絵具、メディ  
ウム、大和糊、発泡パネル



## 本郷 正典

ほんごう まさのり

### 拡散

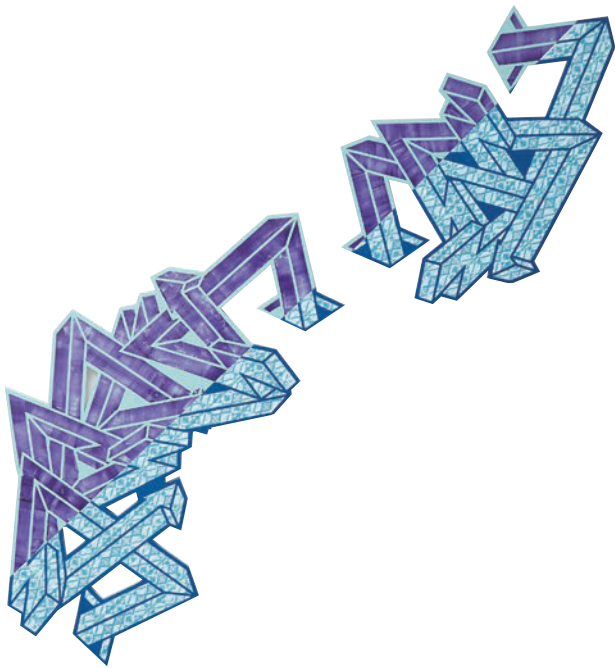
アクリル、ペン、アルミホイル、  
木製パネル



## 増野 智紀

ますの ともし

### 時の絵



水野 耕平  
みずの こうへい

spreading chains no.25  
合板、アクリル絵具、シルクス  
クリーン



溝口 昭彦  
みぞぐち あきひこ

Spindle-shaped2021\_Lunaria  
透明水彩、アクリル絵具、絹糸、  
種子、木片、枝、水彩紙、木製パネル



吉見 結  
よしみ ゆう

交差 20.07  
水性木版、墨、和紙





羅入  
ラジュ

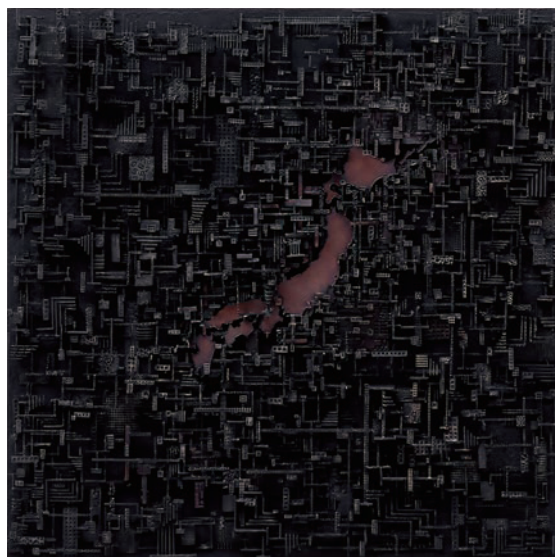
ハイヌウェレ・レコード

墨、和紙、パネル、木枠



久野 彩子  
くの あやこ

under construction -JAPAN-  
ブロンズ、アルミ青銅、木製パネル



坂本 真彩  
さかもと まさい

たみのうた

和紙、虫ピン、段ボール、ペンキ



篠藤 碧空  
しのとう そら

skulpture (violent dance)  
針金



鈴木 優作  
すずき ゆうさく

Boy  
陶器



関野 栄美  
せきの えみ

彼女にまつわる話  
铸造、ガラス、エナメル絵付け

長田 堅二郎

ながた けんじろう

Derivation ~ Flow ~

ステンレス、木製パネル



ハブチ ユウスケ

はぶち ゆうすけ

風景

ミクストメディア、木材



三上 俊希

みかみ としき

未確認生命体

鉄、ゴム風船、送風機、制御盤



山内 郁人

やまうち ふみと

プレ・インターネット時代からα

セメント



## 入賞・入選作家一覧

### 大賞 (小矢部市長賞)

<立体> 小林 美波 (石川県)

### 特別賞 (北日本新聞社賞)

<立体> 工藤 廉 (石川県)

### 特別賞 (小矢部市企業協会長賞)

<平面> 阪本 結 (京都府)

### 入選

<平面>	アラキ ドン (大阪府)	泉 里歩 (千葉県)	荻原 賢樹 (山梨県)
	笠嶋 富士幸 (富山県)	風見 規文 (静岡県)	木白 牧 (神奈川県)
	河内 大樹 (岡山県)	齋藤 ムベンベ (京都府)	鈴木 美緒 (東京都)
	鈴木 洋子 (愛知県)	曾 啟豪 (東京都)	園田 源二郎 (滋賀県)
	田中 敬二 (島根県)	田中 良太 (東京都)	永井 寿郎 (東京都)
	中ぞの 蝶子 (神奈川県)	本郷 正典 (富山県)	増野 智紀 (京都府)
	水野 耕平 (愛知県)	溝口 昭彦 (岩手県)	吉見 結 (神奈川県)
	羅入 (滋賀県)		
<立体>	久野 彩子 (東京都)	坂本 真彩 (千葉県)	篠藤 碧空 (広島県)
	鈴木 優作 (愛知県)	関野 栄美 (東京都)	長田 堅二郎 (富山県)
	ハブチ ユウスケ (兵庫県)	三上 俊希 (愛知県)	山内 郁人 (石川県)



---

実行委員会

---

野澤 敏夫 中村 英雄 (前 間ヶ数 昌浩) 前田 智嗣 (前 渋谷 武) 津山 玄亮 山本 興山  
植生 雅章 宇佐見 外行 高木 利一 (前 柏元 剛)  
大沼 誠一 (前 池田 孝夫) 有沢 和雄 (前 炭谷 仁志) 堀澤 忠志 朱亀 孝 (前 高畑 浩明)  
アートハウスおやべ事務局 (公益財団法人クロスランドおやべ)

---

■主催：アートハウスおやべ ((公財) クロスランドおやべ)

■共催：第3回公募 アートハウスおやべ現代造形展実行委員会、北日本新聞社

■後援：富山県、小矢部市、小矢部市教育委員会、小矢部市芸術文化連盟、  
NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ  
富山エフエム放送、エフエムとなみ、となみ衛星通信テレビ

■協力：小矢部市企業協会

企画・発行 / アートハウスおやべ

編集 / 第3回 公募  
アートハウスおやべ現代造形展  
実行委員会

デザイン / 薮 道子

写真撮影 / シンメイ写真館

---



〒932-0821 富山県小矢部市鷺島10 クロスランドおやべ内  
TEL.0766-53-5344 FAX.0766-53-5844 <http://www.art-oyabe.jp/>